

仲間づくり教養コース ②国際社会学

大転換期を迎えた21世紀の世界を読み解く

第6回 ユーラシアを束ねるSCO

上海協力機構（SCO）は機能するか

日時 12月3日（土）10:00am～

場所 鶴瀬公民館 第三集会室

講師 堀江則雄 氏（法政大学社会学部 講師）

受講生 41名

第39期の「国際社会学講座」は、ついに最終回を迎えました。21世紀の世界は、欧米中心主義の世界史から多極化し、大きく変化しております。

最終回は、総仕上げとして、上海協力機構（SCO）について学習しました。講師は、第2回に続き堀江則雄先生でした。

最終回の受講生は41名と、全6回中最多人数でした。

<はじめに>

<まくら：トランプ登場の意味>

反グローバル化の潮流の一環、排外主義・人種差別、米国の力の低下を反映、トランプ・プーチン、米ロ関係・・・



国際社会学講座

大転換期を迎えた21世紀の 世界を読み解く

第6回

ユーラシアを束ねる

SCO-上海協力機構は

機能するか…

講師 法政大学社会学部講師 堀江則雄氏

I、SCO が生まれた背景——「上海ファイブ」の誕生

米ソ冷戦の終焉と中ロ対立の解消と和解/ 懸案の国境問題の解決促進 (中ロと中国・中央アジア 3 カ国)/ 分断から平和と安定のゾーンへ歴史的転換/ 交通の一体化と経済協力、対テロが柱/ 中ロにカザフスタン、キルギス、タジキスタンの「5」からウズベキスタンも加えて「6」で創立 (2001 年)

II、一気に広がった参加国 (19 カ国と 2 地域共同体)

正式加盟国 ; 中国、ロシア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、インド、パキスタン (8 カ国 = 人口 30 億人、GDP 約 15 兆ドル、領土、ユーラシアの 80%)
オブザーバー加盟国 ; モンゴル、イラン、ベラルーシ、アフガニスタン (4)
対話パートナー国 ; トルコ、スリランカ、アゼルバイジャン、アルメニア、カンボジア、ネパール (6)
ゲスト参加 ; ASEAN、 CIS、トルクメニスタン

Ⅲ、非対決型と公正な国際政治経済秩序

創立憲章：文明の多様性と発展進路の多様な選択肢、民主的で公正かつ合理的な国際経済の新秩序、他国に矛先を向ける同盟ではなく対外開放の原則/

互恵の経済・貿易協力、軍事的結びつき（対テロ・分離主義）/内部矛盾も

機構・組織；首脳会議、首相会議、関係閣僚会議、地域対テロ機構、常設事務局（北京）、SCO 開発銀行

Ⅳ、「大ユーラシア経済圏」構想

ユーラシア経済連合（5カ国）とシルクロード「一带一路」構想の連携・協力

プーチン「ユーラシア経済パートナーシップ」創設を提唱/ 自由貿易協定呼び掛け（インド、中国、イラン、エジプト、イスラエル、インドネシア、カンボジア、韓国、ベネズエラ、ニカラグア、ペルー、チリ）/大きな夢—夢想か？





<講座担当スタッフからの、お礼とお知らせ>

*今期（第39期）は、従来の一国深掘りの学習から、世界を俯瞰し「大転換期を迎えた21世紀の世界を読み解く」と題して、お二人のスペシャリストに、ご講義頂きました。

各回の講義テーマは、

第1回：BRICS（ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ）とG7

第2回：欧州連合（EU）の光と影

第3回：東南アジア諸国連合（ASEAN）の挑戦

第5回：試練に直面する南米カリブ諸国共同体

第6回：ユーラシアを束ねるSCO（上海協力機構）は機能するか

*そんな中、講座開講中に、アメリカに誰もが予想しなかった（？）トランプ氏が、次期大統領候補に選出されました。

来期は弊大学開校40周年を迎えます。国際社会学のテーマは、もうトランプ大統領（2017.1.20就任）に関する講座しかないと考え、数名の先生に講師をお願いすべく、鋭意努力している処です。乞うご期待！

*また今期は、55名の方々に受講頂きました。大勢の皆さんに受講頂き、担当冥利に尽きます。しかも「修了証受賞」をされる方が、24名を数えました。2017年3月の修了式をお楽しみに。

【文責：秋山孝昭】